

公益財団法人 8020 推進財団

令和 6 年度 歯科保健活動助成事業報告書 [抄録]

1. 事業名： 清川村におけるオーラルフレイル健診と改善指導
2. 申請者名： 一般社団法人 厚木歯科医師会
3. 実施組織： 一般社団法人 厚木歯科医師会、清川村
4. 事業の概要： 神奈川県清川村（人口 3000 名弱）在住の村民数名を対象に、村の保健センター健診室にてオーラルフレイルの健診を実施。半年に 1 回の健診と追跡調査、その間の村の保健師による訓練指導を実施し、その結果を検証する事で、オーラルフレイルの訓練が口腔機能を改善ができているかを分析する。結果を清川村広報等で公表していただく予定
5. 事業の内容： 令和 4 年から、清川村において、清川村オーラルフレイル健康診査事業を実施、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、口腔機能低下のリスクがある方を早期に発見し、継続的な支援を対象者に実施することで、口腔機能の維持・改善を目指し、健やかで自立した暮らしを長く保つことを目的としている。その結果を分析する 村の 75 歳以上の高齢者に対し口腔機能改善のためのスクリーニング問診票を全数配布し回収した結果をもとにハイリスク者を抽出する。ハイリスク者に対し、質問票を用いて詳細調査を実施し、オーラルフレイル健診対策会議において対象者 10 名を選定する。 健診内容は (1) 現在の歯の状況 (2) 咬合、歯列の検査 (3) 口腔衛生の状態 (4) 顎関節 (5) 口腔乾燥の状態 (6) 嚥下機能 (7) 運動機能 (8) 咀嚼機能 ①オーラルフレイルの歯科健診と口腔機能向上訓練の指導 9 月 ②歯科衛生士による訓練のフォローアップ 10 月、11 月 ③2 回目のオーラルフレイルの歯科健診と口腔機能向上訓練の指導 2 月 ④検証 を実施する。3 年間のデータを分析、結果を村広報誌等に公表し、オーラルフレイルの健診と訓練効果について啓発する。 清川村は人口 3000 人を切る神奈川県で唯一の村であるが、保健師が殆どの村民の生活状態を把握している事で、きめ細やかな指導が可能となっている。
6. 実施後の評価（今後の課題）： データ母数が少ないためか結果に改善が見られた要素は 衛生状態の変化、舌口唇運動の変化（パ音・タ音）は改善されたデータとなったが 舌口唇運動の変化（カ音）、舌圧、グルコセンサーはあまり顕著な変化が見られず 口腔乾燥、RSST は悪化した結果となってしまった。 しかしながら村民の啓発には十分な効果があり、歯科医院でのオーラルフレイル健診実施に結びついた事は素晴らしい事業であったといえる。